

国際政治史



(i) 第二次世界大戦の終結と冷戦

資本主義陣営 (西側諸国)

社会主義陣営 (東側諸国)

【冷戦成立期／1940年代】なぜ冷戦が起きてしまったのか

1945.2 ^[1] (英: **チャーチル** 米: **F.ローズベルト** ソ: **スターリン**)

→戦後の世界や、国連の創設についての話し合いだったが、
ヨーロッパ支配をめぐり、米・英とソ連が対立【冷戦の始まり】



★冷戦とは

米国を中心とする西側諸国(資本主義陣営)とソ連を中心とする東側諸国(社会主義陣営)が
政治的、経済的、軍事的対立。両者が直接戦闘(=熱戦)せずに対立が続いたため、冷戦と呼ばれている。

1946 英: **チャーチル**首相^[2]] 演説

欧州大陸には鉄のカーテンが
降ろされている。
向こうはソ連の勢力圏内だ。
東西分裂を象徴する言葉に



セットで暗記!

1940年代後半 それぞれの面で対立軸を形成していく → 両者の対立が決定的なものへ

西側陣営			東側陣営	
1947 ³	共産主義封じ込め政策	政治面	1947 ⁴	東欧各国の共産党協力機関
1947 ⁵	米国が西欧諸国への経済援助		1949 ⁶	ソ連が東欧諸国への経済援助
1949 ⁷	北大西洋条約機構	軍事面	1955 ⁸	ワルシャワ条約機構

【冷戦雪解け期／1950年代】話し合い外交により平和共存路線へ

1950



発端 **北朝鮮が韓国侵攻** **韓国**→アメリカが支援 **北朝鮮**→ソ連・中国が支援
→北緯 38° 線を休戦ラインとし、1953年に朝鮮戦争休戦協定

1945



インドシナ戦争

発端 **独立したベトナム民主共和国に仏が介入**
→ 1954 **ジュネーブ休戦協定** → 1955 **ジュネーブ四巨頭会談 (米ソ英仏)**

1956

ソ: **フルシチョフ**書記長「スターリン批判」
冷戦成立期の頃の専制政治を批判
→アメリカと仲直りの兆し

1959

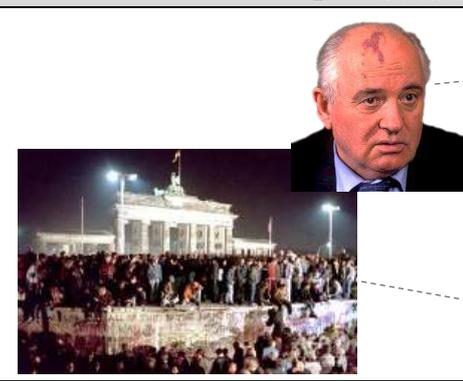
米ソ首脳会談 アメリカ (アイゼンハワー) × ソ連 (フルシチョフ) による話し合い外交。
→両者の関係は徐々に改善の方向へ！かと思われたが…

(ii) 平和共存と多極化

【多極化期 / 1960年代】核戦争の危機 + 第三勢力の登場

資本主義陣営 (西側諸国)	社会主義陣営 (東側諸国)	第三世界
<p>✂️ 1962 [10]) 米ソ“核戦争”寸前の恐怖</p> <p>原因 ソ連がキューバにミサイル基地の建設開始 →米：ケネディ大統領が海上封鎖 →ソ：フルシチョフが譲歩、基地撤去を通告</p>  <p>どちらが核のボタンを押しもおかしくない… 一触即発状態</p>		<p>1954 周・ネルー会談</p> <p>1955 アジア・アフリカ会議</p> <p>1960 [11]) の年 →独立が相次ぐ</p> <p>1961 第一回非同盟諸国首脳会議</p>
<p>✂️ 1965 [12]) 戦争</p> <p>南北に分断していたベトナム。1965年は米国による北爆が始まった年</p> <p>構図 南を支持する米・仏 vs 北を支持するソ連・中国</p>		<p>1964 第一回国連貿易開発会議 (UNCTAD)</p>
<p>1966 仏：NATO 軍を脱退</p> <p>★この頃、アメリカ一強だった経済も三極化 (米国・EC・日本)</p>	<p>1968 [13])</p> <p>チェコで発生した民主化運動 →ソ連が武力制圧</p>	
<p>【1970年代前半】デタント (緊張緩和) が進む → 【1970年代後半～】新冷戦 / 米ソは再び関係は緊張状態</p>		
<p>1983 米：SDI 構想 = 宇宙からのミサイル迎撃システム</p>	<p>1979 ソ [14]) 侵攻開始 →これにより米との軍縮交渉は停止</p>	

(iii) 冷戦の終結

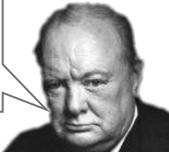
資本主義陣営 (西側諸国)	社会主義陣営 (東側諸国)
<p>【冷戦終結期 / 1980年代後半】</p>	
	<p>1985 ソ：ゴルバチョフが書記長に就任 [15]) : 民主化改革、西側との協調</p> <p>①ペレストロイカ (改革) ②グラスノスチ (情報公開)</p> <p>1989 東欧の民主化 : 東欧諸国の共産党支配が崩壊</p> <p>1989 [16]) : 中国国内で発生した学生による民主化デモ←政府が弾圧</p> <p>1989.10 ベルリンの壁崩壊 → 翌年ドイツ再統一</p>
<p>1989 [17]) 会談 アメリカ (ブッシュ) × ソ連 (ゴルバチョフ) による会談 → 冷戦の終結</p>	
<p>1991 [18]) 米国を中心とする多国籍軍がイラクを武力制裁</p>	<p>1991 WTO、COMECON 解散</p> <p>1991 ソ連崩壊 → [19]) (CIS) 誕生</p>

東西冷戦は終結したものの、米ソの陰に隠れ燻っていた民族紛争が各地で激化し、現在も戦争が絶えない時代は続いている。 90年代：湾岸戦争・ユーゴ紛争 00年代：イラク戦争 20年代：ウクライナ侵攻・パレスチナ問題

国際政治史



(i) 第二次世界大戦の終結と冷戦

資本主義陣営 (西側諸国)		社会主義陣営 (東側諸国)		
【冷戦成立期／1940年代】なぜ冷戦が起きてしまったのか				
<p>1945.2 [1 ヤルタ会談] (英: チャーチル 米: F.ローズベルト ソ: スターリン) →戦後の世界や、国連の創設についての話し合いだったが、ヨーロッパ支配をめぐり、<u>米・英とソ連が対立</u>【冷戦の始まり】</p>				
<p>★冷戦とは <u>米国を中心とする西側諸国(資本主義陣営)</u>と<u>ソ連を中心とする東側諸国(社会主義陣営)</u>が 政治的、経済的、軍事的対立。両者が直接戦闘(=熱戦)せずに対立が続いたため、冷戦と呼ばれている。</p>				
<p>1946 英: チャーチル首相 [2 鉄のカーテン] 演説</p>				
<p>欧州大陸には鉄のカーテンが降ろされている。 向こうはソ連の勢力圏内だ。 東西分裂を象徴する言葉に</p>				
<p>1940年代後半 それぞれの面で対立軸を形成していく → 両者の対立が決定的なものへ</p>				
西側陣営		政治面	東側陣営	
1947 3 トルーマン・ドクトリン 共産主義封じ込め政策	政治面		1947 4 コミンフォルム 東欧各国の共産党協力機関	
1947 5 マーシャル・プラン 米国が西欧諸国への経済援助	経済面		1949 6 コメコン COMECON ソ連が東欧諸国への経済援助	
1949 7 NATO 北大西洋条約機構	軍事面		1955 8 ワト ワルシャワ条約機構	
【冷戦雪解け期／1950年代】話し合い外交により平和共存路線へ				
<p>1950  9 朝鮮戦争</p>	<p>発端 北朝鮮が韓国侵攻 [韓国]→アメリカが支援 [北朝鮮]→ソ連・中国が支援 →北緯 38° 線を休戦ラインとし、1953年に朝鮮戦争休戦協定</p>			
<p>1945  インドシナ戦争</p>	<p>発端 独立したベトナム民主共和国に仏が介入 → 1954 ジュネーブ休戦協定 → 1955 ジュネーブ四巨頭会談 (米ソ英仏)</p>			
	<p>1956</p>	<p>ソ: フルシチョフ書記長「スターリン批判」 冷戦成立期の頃の専制政治を批判 →アメリカと仲直りの兆し</p>		

セットで暗記!

1959

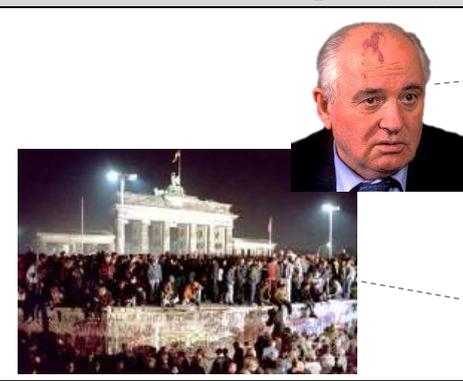
米ソ首脳会談 アメリカ (アイゼンハワー) × ソ連 (フルシチョフ) による話し合い外交。
→両者の関係は徐々に改善の方向へ！かと思われたが…

(ii) 平和共存と多極化

【多極化期 / 1960年代】核戦争の危機 + 第三勢力の登場

資本主義陣営 (西側諸国)	社会主義陣営 (東側諸国)	第三世界
<p>✂️ 1962 [10 キューバ危機] 米ソ“核戦争”寸前の恐怖</p> <p>原因 ソ連がキューバにミサイル基地の建設開始 →米：ケネディ大統領が海上封鎖 →ソ：フルシチョフが譲歩、基地撤去を通告</p> 		<p>1954 周・ネルー会談</p> <p>1955 アジア・アフリカ会議</p> <p>1960 [11 アフリカ] の年 →独立が相次ぐ</p> <p>1961 第一回非同盟諸国首脳会議</p>
<p>✂️ 1965 [12 ベトナム] 戦争</p> <p>南北に分断していたベトナム。1965年は米国による北爆が始まった年</p> <p>構図 南を支持する米・仏 vs 北を支持するソ連・中国</p>		<p>1964 第一回国連貿易開発会議 (UNCTAD)</p>
<p>1966 仏：NATO 軍を脱退</p> <p>★この頃、アメリカ一強だった経済も三極化 (米国・EC・日本)</p>	<p>1968 [13 プラハの春]</p> <p>チェコで発生した民主化運動 →ソ連が武力制圧</p>	
<p>【1970年代前半】デタント (緊張緩和) が進む → 【1970年代後半～】新冷戦 / 米ソは再び関係は緊張状態</p>		
<p>1983 米：SDI 構想</p> <p>=宇宙からのミサイル迎撃システム</p>	<p>1979 ソ [14 アフガニスタン] 侵攻開始</p> <p>→これにより米との軍縮交渉は停止</p>	

(iii) 冷戦の終結

資本主義陣営 (西側諸国)	社会主義陣営 (東側諸国)
<p>【冷戦終結期 / 1980年代後半】</p>	
	<p>1985 ソ：ゴルバチョフが書記長に就任</p> <p>[15 新思考外交] : 民主化改革、西側との協調</p> <p>①ペレストロイカ (改革) ②グラスノスチ (情報公開)</p> <p>1989 東欧の民主化 : 東欧諸国の共産党支配が崩壊</p> <p>1989 [16 天安門事件] : 中国国内で発生した学生による民主化デモ←政府が弾圧</p> <p>1989.10 ベルリンの壁崩壊 → 翌年ドイツ再統一</p>
<p>1989 [17 マルタ] 会談 アメリカ (ブッシュ) × ソ連 (ゴルバチョフ) による会談 → 冷戦の終結</p>	
<p>1991 [18 湾岸戦争]</p> <p>米国を中心とする多国籍軍がイラクを武力制裁</p>	<p>1991 WTO、COMECON 解散</p> <p>1991 ソ連崩壊 → [19 独立国家共同体] (CIS) 誕生</p>

東西冷戦は終結したものの、米ソの陰に隠れ燻っていた民族紛争が各地で激化し、現在も戦争が絶えない時代は続いている。 90年代：湾岸戦争・ユーゴ紛争 00年代：イラク戦争 20年代：ウクライナ侵攻・パレスチナ問題